

相生山緑地・ヒメボタルの里 ゾーニングの提案

【2014年6月】

| ゾーン | 内容・目標 |
|--------------------------------|--|
| 相生山緑地(ヒメボタルの里) ネイチャーセンター | <p>■相生山緑地での環境教育・自然／地誌の紹介。■各種活動の拠点施設。■湧水を利用しビオトープの実験地。■育ててみよう、サギソウ・シラタマホシクサ・トウカイコモウセンゴケ・ミミカキグサ・・・。</p> |
| 相生山緑地(ヒメボタルの里) ネイチャーセンターゾーン | <p>■ヒメボタルや貴重な種を守り、育てる（再生を含む）。■ネイチャーセンター周辺の地域：徳林寺境内一部を含む。■ネイチャーセンター周辺地域の自然を豊かにする。■観察される野鳥：トラツグミ、コジュケイ・ルリビタキ・アカゲラ・コゲラ・シジュウカラ・メジロ・エナガ、他。■調べてみようヒメボタル。</p> |
| 環境共生住宅地ゾーン | <p>■自然と調和した環境にやさしいモデル住宅地。■相生山緑地内事業予定地(約30ヘクタール)を含む緑地南部、西部。■水系ゾーンに出される家庭排水・汚水の浄化、自然エネルギーの利用・生ゴミ処理などのモデル地域（既住民の設備設置に対しては補助金対象とする）。■環境モニタリングに対応：行政・大学との連携・データ提供。■道路、上下水道など、自然環境との調和を考えて最低限の整備。■ヒメボタルの生息地。■新たな宅地化・建築は禁止する。転居などにより住民の減少に伴い、将来は徐々に自然の森に戻す。</p> |
| 水系ビオトープゾーン | <p>■水辺動植物の再生を図る。■ため池による水辺の再生。■相生山緑地に東から西へ3本の沢のうち、南の沢を利用。■相生小学校地下タンクの水や家庭排水を利用し、せせらぎの復活。■水辺の動植物のいる場所を環境学習の場として提供。■自然再生事業を行う。</p> |
| 森の生態系コアゾーン | <p>■貴重な野生生物を静かに見守り保護する場。■3本の沢のうち、中央の沢周辺、相生山緑地で自然が最も豊かに残されているところ。■ヒメボタルの観賞地。■よく観察される野鳥：キビタキ、オオタカ、ヤマシギ、コジュケイ、アカゲラ、カケス、コゲラなどの混群。■特徴的な植物：カマツカ、コ克蘭、シュンラン、エンシュウムヨウラン、タカノツメ、ヒメカンアオイ。■尾根部に特徴的な植物（チャート起源の貧栄養地層の特徴的な植生）：シャシャンポ、コバノミツバツツジ、ヤマツツジ（ミカワスツジ）、ウンヌケ、ジガバチソウ・・・ ■森のタイプ：尾根—アカマツ・コシダ、沢部—竹林、ヒノキ林、谷～尾根—コナラ中心の二次林■旧石器史跡</p> |
| 里山田園ゾーン | <p>■里山の風景を残し、田園雑草を守る場。■オアシスの森相生口から西南地区、菅田口から東南地区。■よく観察される植物：ナズナ・ホトケノザ・ハコベ・ヒメオドリコソウ、カラスウリ他。■観察される野鳥：ウグイス・モズ・スズメ・アオジ・メジロ他。■ヒメボタル観賞地。</p> |
| ヒメボタルのハイライン公園ゾーン | <p>■森の生態系コアゾーンとマッチする、自然に最大限配慮した公園 ■西エリアはエンタランスエリアとする。災害時の避難場所、救援拠点にも利用可。■シェルターエリアは野外教育・調査・イベントなどの、拠点になる。■生態系コアゾーン隣接する東エリアは、極力自然に配慮をし、生き物に影響を与えないようにする場。</p> |

ヒメボタルの^{さとこうそう}里構想の^{してん}視点

1 ^{じぞくかのう}持続可能な^{しゃかい}社会へ^{かち}むけて^{てんかん}価値の転換

^{かいはつ}開発から^{しぜん}自然との^{きょうせい}共生

^{どうろかいはつ}道路開発を^{としけいかくこうえん}都市計画公園に^{どうろ}（^{だいたいあん}道路の代替案）

2 ^{しぜん}自然や^{ぶんか}文化の^{れきし}歴史が^{かん}感じられる・・・^{ちいき}地域のアイデンティティー

^{ひと}人が^{しぜん}自然を使いすぎた^{つか}時代^{じだい} 瘦せた^{やおね}尾根

^{こよう}古窯・^{あゆちがた}魚市潟、^{じょうもん}縄文・^{きゅうせつき}旧石器

^{かいはつ}開発の^{なみ}波、^{かこ}過去の^{もり}森の^{せんい}遷移

^{とちりよう}土地利用

3 ^{ゆたか}豊かな^{しぜん}自然を残すために＝^{せいぶつ}生物の^{たようせい}多様性を^{たもつ}保つ

ゾーニング

^{うし}失なわれた^{すいけい}水系をどのように

^{かいはつ}開発／^{がいらいしゅ}外来種／^{かじょう}過剰な^{いりこみ}入込／^{たけやぶ}竹藪／^{らんかく}乱獲

4 ^{りょくちじゅうみん}緑地住民への^{はいりよ}配慮

^{へいせい29ねんど}平成29年度に^{じぎょうか}事業化

5 ^{きょういく}教育・レクリエーション（市民の利用）